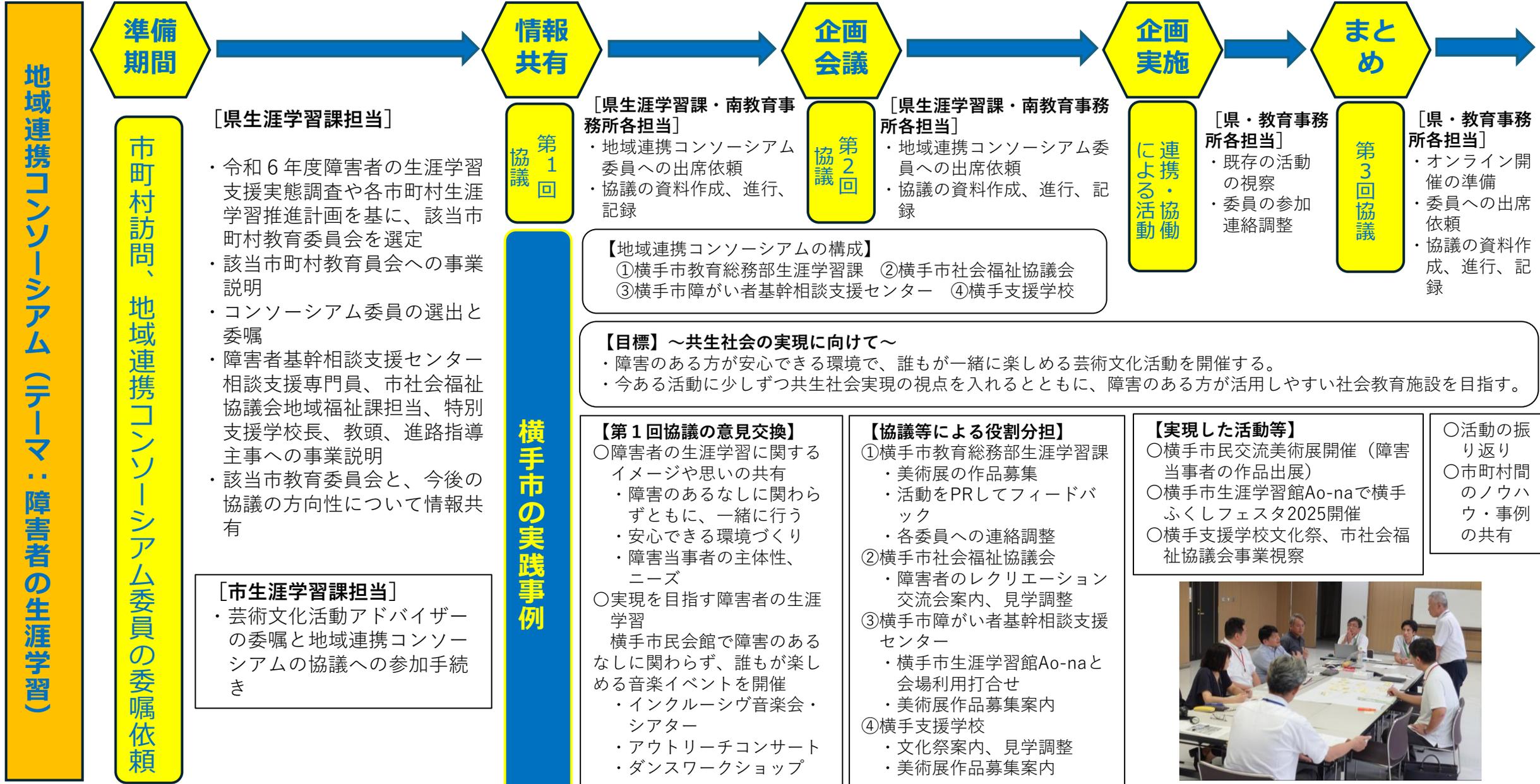


令和7年度 学びを通じた地域づくりプラットフォーム構築事業における実践事例（横手市）



準備期間

- 〔県生涯学習課担当〕**
- 令和6年度障害者の生涯学習支援実態調査や各市町村生涯学習推進計画を基に、該当市町村教育委員会を選定
 - 該当市町村教育委員会への事業説明
 - コンソーシアム委員の選出と委嘱
 - 障害者基幹相談支援センター相談支援専門員、市社会福祉協議会地域福祉課担当、特別支援学校長、教頭、進路指導主事への事業説明
 - 該当市教育委員会と、今後の協議の方向性について情報共有

- 〔市生涯学習課担当〕**
- 芸術文化活動アドバイザーの委嘱と地域連携コンソーシアムの協議への参加手続き

情報共有

第1回協議

- 〔県生涯学習課・南教育事務所各担当〕**
- 地域連携コンソーシアム委員への出席依頼
 - 協議の資料作成、進行、記録

- 〔地域連携コンソーシアムの構成〕**
- ①横手市教育総務部生涯学習課
 - ②横手市社会福祉協議会
 - ③横手市障がい者基幹相談支援センター
 - ④横手支援学校

- 〔目標〕～共生社会の実現に向けて～**
- 障害のある方が安心できる環境で、誰もが一緒に楽しめる芸術文化活動を開催する。
 - 今ある活動に少しずつ共生社会実現の視点を入れるとともに、障害のある方が活用しやすい社会教育施設を目指す。

横手市の実践事例

- 〔第1回協議の意見交換〕**
- 障害者の生涯学習に関するイメージや思いの共有
 - ・障害のあるなしに関わらずともに、一緒に行く
 - ・安心できる環境づくり
 - ・障害当事者の主体性、ニーズ
 - 実現を目指す障害者の生涯学習
 - 横手市民会館で障害のあるなしに関わらず、誰もが楽しめる音楽イベントを開催
 - ・インクルーシヴ音楽会・シアター
 - ・アウトリーチコンサート
 - ・ダンスワークショップ

- 〔協議等による役割分担〕**
- ①横手市教育総務部生涯学習課
 - ・美術展の作品募集
 - ・活動をPRしてフィードバック
 - ・各委員への連絡調整
 - ②横手市社会福祉協議会
 - ・障害者のレクリエーション交流会案内、見学調整
 - ③横手市障がい者基幹相談支援センター
 - ・横手市生涯学習館Ao-naと会場利用打合せ
 - ・美術展作品募集案内
 - ④横手支援学校
 - ・文化祭案内、見学調整
 - ・美術展作品募集案内

企画実施

連携・協働による活動

- 〔県・教育事務所各担当〕**
- 既存の活動の視察
 - 委員の参加連絡調整

まとめ

第3回協議

- 〔県・教育事務所各担当〕**
- オンライン開催の準備
 - 委員への出席依頼
 - 協議の資料作成、進行、記録

- 〔実現した活動等〕**
- 横手市民交流美術展開催（障害当事者の作品出展）
 - 横手市生涯学習館Ao-naで横手ふくしフェスタ2025開催
 - 横手支援学校文化祭、市社会福祉協議会事業視察

- 活動の振り返り
- 市町村間のノウハウ・事例の共有

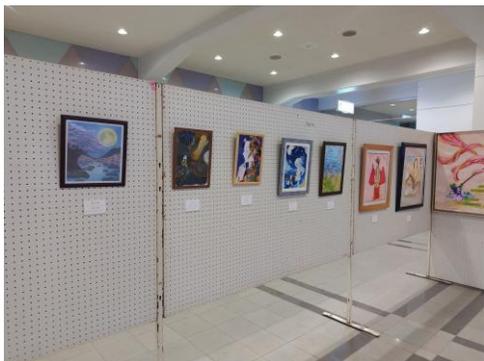


第2回地域連携コンソーシアムの協議

令和7年度 学びを通じた地域づくりプラットフォーム構築事業「eポートフォリオ」(横手市)



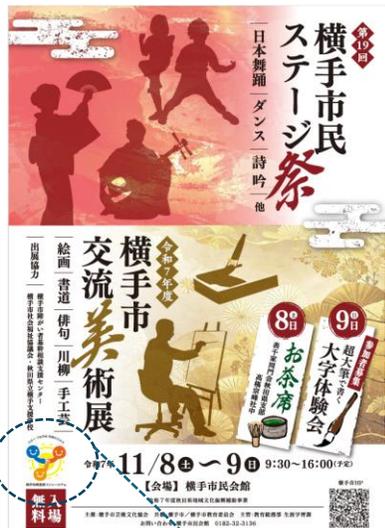
6/12 第1回地域連携コンソーシアム



11/8~9 横手市交流美術展② 絵画部門



11/16 輪気愛相レクリエーション交流会



ロゴマーク&キャッチコピー



11/8~9 横手市交流美術展①
(片マヒがあるお姉さんの作品 持ち帰り自由)



11/8~9 横手市交流美術展③ 手工芸部門



11/28~12/2 横手ふくしフェスタ2025

【成果と課題】

- ・地域連携コンソーシアム委員同士のつながり、協力の関係性を構築できたことが最大の成果である。
- ・ロゴマーク&キャッチコピーを作成し、横手市交流美術展のチラシやポスターなどで活用し本事業を広くPRできた。
- ・横手市交流美術展で障がい者の作品を出展したり、横手ふくしフェスタ2025を横手市生涯学習館Ao-naで開催したりするなど、障がいのある方の社会参加を促進する取組を創出した。
- ・横手市生涯学習館Ao-naで開催した横手ふくしフェスタ2025では、「図書館もある公共施設」という強みを生かし、障がいに関する図書の企画展示を図書館課とも連携して取り組んだことで、主催団体とともに障がい福祉に関する認知度の向上に努めた。
- ・横燿祭(横手支援学校)や輪気愛相事業(社会福祉協議会)へ参加したことで、実際の交流を通じて担当者自身の気づきや学びを深めることができた。
- ・芸術文化分野において障がい者が求めているニーズは現在も手探り状態である。引き続きコンソーシアム構成メンバーと意見交換しながら「障がい者が安心して参加できる環境で、誰もが一緒に楽しめる芸術文化活動」を目指したい。